

情報公開様式

研究課題名	課題名：泌尿器科ロボット支援手術・腹腔鏡手術施行患者の背景因子・周術期アウトカムおよび術後経過を観察するレジストリ試験
研究期間	実施許可日（2025 年 8 月 4 日）～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2012 年 4 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までに、広島大学病院および共同研究機関でロボット支援手術・腹腔鏡手術が施行された 20 歳以上の患者さんを対象とします。
研究の目的・方法	泌尿器科領域において腹腔鏡手術、ロボット支援手術は標準化された術式として広く適応されています。今日では多くの施設において手術支援ロボットが導入されていますが、最近になり純国産手術支援ロボット”hinotori”が開発、導入され始めました。今後も幅広い疾患に対してロボット支援下に行われることが予想されますが、その有用性や従来の方法との比較については継続して検証していく必要があります。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査結果（手術前評価として調べたもの）、および手術法、用いた機器、手術前の画像検査所見、周術期の経過、術後の経過です。 （個人が特定出来る情報は転記しません） 以下の機関と共同で研究します。各研究機関において氏名や住所など個人を特定する情報を削り、代わりに研究用の番号をつけどなたの情報か分からないようにします。このように加工された情報を、広島大学が運用する電子的データ収集システムに登録します。システムは研究者等限られた者しかアクセスできません。収集された情報をもとに広島大学で解析します。 試料・情報の管理責任者： JA 尾道総合病院 泌尿器科 主任部長 角西 雄一
利用または提供を開始する予定日	2025 年 8 月 4 日（本研究の実施許可日）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	当院の研究責任者 JA 尾道総合病院 泌尿器科 主任部長 角西 雄一 研究機関の長 JA 尾道総合病院 院長 田中 信治 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科 腎泌尿器科学 教授 日向信之

	共同研究機関 ・広島市立北部医療センター安佐市民病院 研究責任者：三田耕司 ・国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 研究責任者：福岡 憲一郎 ・JA 広島総合病院 研究責任者：加藤 昌生 ・県立広島病院 研究責任者：梶原 充 ・三次市立三次中央病院 研究責任者：丸山 聡 ・国立病院機構東広島医療センター 研究責任者：望月 英樹 ・JA 尾道総合病院 研究責任者：角西 雄一 ・国立病院機構福山医療センター 研究責任者：長谷川 泰久 ・国立病院機構広島西医療センター 研究責任者：浅野 耕助 ・中国労災病院 研究責任者：小林 加直 ・マツダ病院 研究責任者：甲田 俊太郎 ・浜脇整形外科病院 研究責任者：金岡 隆平 ・中電病院 研究責任者：川崎 真美 ・県立二葉の里病院 研究責任者：橋本 邦宏 ・松山赤十字病院 研究責任者：矢野 明 ・中津第一病院 研究責任者：大原 慎也 ・広島記念病院 研究責任者：重松 慶紀 ・土谷総合病院 研究責任者：岩本 秀雄
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 JA 尾道総合病院 泌尿器科 担当者：角西 雄一 〒722-8508 広島県尾道市平原一丁目 10-23 電話番号：0848-22-8111